

いっぽだより No.18

令和7年12月発行

放虎原こども園公開保育 たくさんのご参加ありがとうございました！

園と小学校ともに、研修会を重ねるごとに参加してくださる先生方が増えています。午前中の大変お忙しい中、シフトを調整してお集まりいただき共に学び合いましたこと、大変ありがとうございました。

子どもの興味をくすぐり「やってみたい！」を引き出す環境構成

10月中旬、一人の子どもが家庭からドングリをもってきたことをきっかけに…



絵本や図鑑を、目につきやすく、すぐに手に取って調べられるところに用意

秋の散歩で集めたり、家庭から持ち寄ったりした自然物を、子どもと一緒に分類

文字や数量にも興味・関心がもてるような、表示の仕方を工夫



発達段階に応じて、扱いが易しすぎず難しきれない、また個々の工夫が生きる素材選び、提示の仕方の工夫

友達同士、思いを伝え合いながらやりたい遊びを継続できる時間と空間の保障、試行錯誤を支える関わり、遊びの振り返り



※子どもの写真は、後日訪問して撮影したものです。ドングリサーキットは公開保育当日より更に発展し、積み木を使って高低差をつくり「ここに段差があるから止まるんだよ」「勢いよく転がしたら段のところでジャンプした！」など気付きを伝え合って、遊びが更に面白くなるように工夫していました。

参観後のグループ協議では、遊びの中での子どもが学ぶ姿や環境構成、保育者の関わりなど気付きを出し合い、園と小学校それぞれの現場で学びや育ちをつなぐために活かしていくべきこと、工夫していくべきことについて活発に意見交換が行われました。

長崎県幼児教育センター課長補佐、高田敦先生は、この日の保育のよさとして、子どもが継続して遊び、また夢中で遊び込めるよう、子どもの姿に合わせた環境の再構成が日々図られていること、保育者が共感的に関わり子どもの思いを言語化することで、遊びと遊びがつながり発展していることなどお話ししてくださいました。

今回、保育を見たり語り合ったりしたこと、新たな気付きを得られた先生方も多くいらっしゃったのではないでしょうか。まずはできることから少しづつでも、歩みを進めていただきたいと思います。



～幼児教育・保育の魅力は「初めてできた！」の瞬間に寄り添えること～

研修会でいただいたご感想のひとつを紹介いたします。

今日は、幼児教育・保育の素晴らしさを再認識しました。それは、子どもたちの「初めてできた！」の瞬間に寄り添えることです。今日も、年中児のAちゃんが初めて一本下駄ができましたと喜んでいました。また、年長児のBちゃんの、まつぼっくりけん玉が初めてできた瞬間の嬉しそうな笑顔が印象的でした。その後すぐ近くにいる園の先生に駆け寄って見せていました。先生方との日頃の信頼関係が垣間見えました。私たちはそのための環境を整えていますが、一番の環境は先生自身なのだということが、今日の研修会ではっきりわかりました。

保育の仕事は、とても尊い特別な瞬間に立ち会える素晴らしい仕事ですね。迷うことも悩むこともありますが、保育の中にある幸せな瞬間を見逃さず、子どもと一緒に笑顔で楽しみ喜び合うこと、そういう関係を積み重ねていくことが大切だと改めて感じました。



～小学校区別幼保小連絡会～

先日、西大村小校区の連絡会に参加させていただきました。今年度担当園のかめりあ天空の森保育園さんに集まり、5歳児の保育を参観後、11月の交流活動や「架け橋期のカリキュラム」について話し合いました。縦だけではなく横のつながりも大切にされ、カリキュラム作成においては、8月～11月までの「展開される主な活動」「指導上の配慮事項」部分を事前に記入して持ち寄り、活発に協議されました。まさに相互理解のためのツールとしてご活用いただいていること、大変ありがとうございました。

校区でひとつのカリキュラムを作成する際、5歳児について先生方と確認したことは、小学校の学びを見通して、各園共通の活動（遊び）を記載するという点です。共通の活動（遊び）を通して育つ子どもの姿と共に語り合い、配慮事項などを共有していくことは円滑な接続に向けて必要なことだと感じました。

協議の中で、園と園の交流についても検討されました。園児同士が顔見知りになることは、就学に向けての安心感や期待感にもつながるよい取組のひとつだと思います。



～交流活動実施報告書・「架け橋期のカリキュラム」等の提出について～

★合同研修会でお知らせしましたとおり、いっぽにご提出いただくものは、以下の2点です。（2月末〆切）

- 交流活動実施報告書
- 校区別架け橋期のカリキュラム

※「交流活動の実施報告書」の様式は、今回新たなものを添付しておりますが、5月27日付でこども支援課より「小学校接続加算」の要件の中で示された様式でも構いません。「小学校接続加算」の申請は、こども支援課給付Gへ12月にキッズコネクト上でお願いします。

記載内容は、毎年3月に、幼保小連携・接続連絡協議会の委員の皆様の実践をメールで送付しておりますので、そちらをご参考にされてもよいかと思います。

※「校区別架け橋期のカリキュラム」は作成の途中で構いません。少しずつ時期を区切って話し合う校区もあるようです。相互理解を図り校区で共通のものをそれぞれ提出してください。

大村市幼児教育・保育支援センター いっぽ

〒856-0832 大村市本町413番地2(大村市こどもセンター2階)

T E L: 0957-46-5881 F A X: 0957-46-5881

Email: youkyou@city.omura.nagasaki.jp